

平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 創通

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 建彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 出原 隆史

TEL 03-3248-0311

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	4,103	35.3	600	47.4	609	45.0	343	65.2
23年8月期第1四半期	3,031	△19.9	407	△0.4	420	△1.6	207	△17.1

(注) 包括利益 24年8月期第1四半期 326百万円 (18.8%) 23年8月期第1四半期 275百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	43.25	—
23年8月期第1四半期	49.82	—

(注) 平成23年3月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しておりますが、平成23年8月期第1四半期の1株当たり四半期純利益につきましては当該分割を勘案していない数値となっております。詳細につきましては3枚目「(株式分割に伴う遡及修正値)」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
24年8月期第1四半期	16,011		12,576			77.2
23年8月期	15,868		12,492			77.4

(参考) 自己資本 24年8月期第1四半期 12,356百万円 23年8月期 12,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	—	—	30.00	30.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	5.8	980	8.2	1,000	6.5	500	14.3	62.99
通期	16,700	10.4	1,860	7.9	1,900	8.1	1,030	10.5	129.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期1Q	8,200,000 株	23年8月期	8,200,000 株
② 期末自己株式数	24年8月期1Q	262,669 株	23年8月期	262,655 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期1Q	7,937,332 株	23年8月期1Q	4,171,389 株

(注)平成23年3月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しておりますが、平成23年8月期第1四半期の期中平均株式数につきましては当該分割を勘案していない数値となっております。詳細につきましては3枚目「(株式分割に伴う遡及修正値)」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(株式分割に伴う遡及修正値)

当社は、平成 23 年 3 月 1 日付で 1 株につき、2 株の割合で株式分割を行っております。

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、平成 23 年 8 月期の 1 株当たり情報は以下のとおりです。

連結経営成績(累計)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 8 月期第 1 四半期	43.25	— —
23 年 8 月期第 1 四半期	24.91	— —

発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	24 年 8 月期 1Q	8,200,000 株	23 年 8 月期	8,200,000 株
②期中自己株式数	24 年 8 月期 1Q	262,669 株	23 年 8 月期	262,655 株
③期中平均株式数(四半期累計)	24 年 8 月期 1Q	7,937,332 株	23 年 8 月期 1Q	8,342,778 株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け大きく低下した企業の生産活動が、サプライチェーンの復旧により緩やかに回復傾向をみせているものの、欧州の財政不安を背景とした世界的な株価の低迷、円高の長期化、さらにはタイでの洪水の影響など懸念すべき課題が多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、中核であるテレビアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサーの開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,103百万円（前年同期比35.3%増）、営業利益600百万円（前年同期比47.4%増）、経常利益609百万円（前年同期比45.0%増）、四半期純利益343百万円（前年同期比65.2%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、10月よりスタートした大型プロジェクト「機動戦士ガンダムAGE(エイジ)」に係る放送事業及び関連するキャラクターグッズの販促・プロモーションに注力してまいりました。さらに継続番組である「それいれ!アンパンマン」「カードファイト!!ヴァンガード」「ジュエルペット サンシャイン」等のプロデュース・取扱を行い、アニメ事業が好調に推移したことが前年同期に比べ増収増益となった主な要因となっております。

また、子会社株式会社ジェイ・ブロードについては、新卒採用の広報時期が主に12月以降に後ろ倒しとなった影響により、前年同期に比べ売上高・営業利益とも減少しておりますが、業績は期初の予定通り順調に推移しております。

この結果、メディア事業の売上高は3,303百万円（前年同期比37.7%増）、営業利益264百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、「ガンダム」シリーズに係るゲーム関連の著作権収入が増加したこと及び新キャラクターである「機動戦士ガンダムAGE(エイジ)」の商品化権の著作権収入が順調に推移いたしました。

また、「ガンダム」シリーズ以外にも「花咲くいろは」「ゆるゆり」等のヒットによる著作権収入が好調に推移いたしました。

この結果、ライセンス事業の売上高は705百万円（前年同期比71.0%増）、営業利益362百万円（前年同期比64.5%増）となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業におきましては、スポーツに係る番組の取扱等が減少し、前年同期に比べ売上高は大幅に減少いたしました。営業利益への影響はほとんどありません。

この結果、スポーツ事業の売上高は93百万円（前年同期比57.5%減）、営業損失3百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、16,011百万円となりました。主な要因は、売上債権の増加177百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、3,435百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加86百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、12,576百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加105百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

概ね当初予想通りに推移しており、平成23年10月6日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,930,259	10,882,985
受取手形及び売掛金	2,292,339	2,469,493
商品	205	286
仕掛品	12,110	26,150
貯蔵品	4,864	4,267
繰延税金資産	55,121	51,746
その他	90,122	104,058
貸倒引当金	△7,010	△8,297
流動資産合計	13,378,012	13,530,691
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	52,216	51,295
車両運搬具(純額)	1,079	944
工具、器具及び備品(純額)	13,051	12,511
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	389,060	387,463
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,723	1,462,411
繰延税金資産	266,964	286,804
その他	287,523	281,713
貸倒引当金	△1,180	—
投資その他の資産合計	2,037,030	2,030,929
固定資産合計	2,490,639	2,481,234
資産合計	15,868,651	16,011,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,365,484	2,451,953
未払法人税等	297,864	248,606
賞与引当金	34,200	27,625
その他	189,064	215,103
流動負債合計	2,886,614	2,943,287
固定負債		
退職給付引当金	69,702	71,976
その他	419,874	419,874
固定負債合計	489,577	491,851
負債合計	3,376,191	3,435,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	11,911,330	12,016,514
自己株式	△300,224	△300,241
株主資本合計	12,417,095	12,522,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△136,124	△165,652
その他の包括利益累計額合計	△136,124	△165,652
少数株主持分	211,490	220,177
純資産合計	12,492,460	12,576,787
負債純資産合計	15,868,651	16,011,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	3,031,831	4,103,179
売上原価	2,406,719	3,293,466
売上総利益	625,111	809,713
販売費及び一般管理費	217,882	209,633
営業利益	407,229	600,080
営業外収益		
受取利息	210	138
受取配当金	2,141	1,547
持分法による投資利益	8,703	—
投資事業組合運用益	5,464	8,005
その他	2,460	2,736
営業外収益合計	18,979	12,428
営業外費用		
支払手数料	2,924	—
上場関連費用	2,729	2,682
その他	0	—
営業外費用合計	5,654	2,682
経常利益	420,553	609,825
特別損失		
固定資産除却損	6,590	—
投資有価証券評価損	—	856
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,120	—
特別損失合計	7,710	856
税金等調整前四半期純利益	412,843	608,969
法人税、住民税及び事業税	156,988	250,239
法人税等調整額	16,527	2,274
法人税等合計	173,515	252,513
少数株主損益調整前四半期純利益	239,328	356,455
少数株主利益	31,494	13,151
四半期純利益	207,833	343,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	239,328	356,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,897	△29,523
その他の包括利益合計	35,897	△29,523
四半期包括利益	275,225	326,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,767	313,777
少数株主に係る四半期包括利益	31,457	13,155

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,399,278	412,589	219,964	3,031,831	—	3,031,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,399,278	412,589	219,964	3,031,831	—	3,031,831
セグメント利益又は損失(△)	216,282	220,108	△4,210	432,181	△24,952	407,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,952千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,303,976	705,712	93,491	4,103,179	—	4,103,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,303,976	705,712	93,491	4,103,179	—	4,103,179
セグメント利益又は損失(△)	264,150	362,084	△3,028	623,205	△23,125	600,080

(注) 1. セグメント利益の調整額△23,125千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成24年1月10日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することについて以下のとおり決議いたしました。

- ① 取得する株式の種類
当社普通株式
- ② 取得する株式の総数
100,000株（上限）
- ③ 取得する期間
平成24年1月11日～平成24年2月22日
- ④ 取得価額の総額
150,000千円（上限）
- ⑤ 取得の方法
信託方式による市場買付